



ニワトリは飛べるって本当なの

野生のニワトリは飛ぶ

ニワトリは、少しくらいなら飛べます。ねむるときは、小屋の中でも、少し高いとまり木などに飛び上がります。これは、学校でも観察できます。

人家近くの公園や山には、飼われていたニワトリが、野生化して生活している地域もあります。野生化したニワトリは、イヌやネコにおそわれて、死ぬものも出ます。しかし、生き残ったニワトリは、大変動きがすばやく、7～8メートルの高さにある木の枝に、らくらく飛んで止まります。

ニワトリの祖先は、セキショクヤケイ

ニワトリは、東南アジアの林にすんでいたセキショクヤケイを、飼いならしたものとされています。ペンギンやダチョウのように、飛ぶことをやめた種類ではありません。ニワトリも、庭先で、「放しがい」にすれば、けっこう飛べます。

とり肉や卵をとるためのニワトリ

卵や肉をとるニワトリは、ケージというせまい箱の中で、一生をくらします。食べたえさの栄養が、少しでもむだにならないように、体が動かさない、せまいケージに入れられています。さらに、くちばしは、先の方が少し切られています。えさをつついたとき、飛び散るえさを少なくするためです。

(監修・今泉 忠明)

